

茶話

茶話という言葉は、字義から言うと、茶を飲むときの談話である。だが事實は、わたしにはそういう談話をする時は滅多にないし、しかも茶の味も知らない、——わたしはただ冷たい茶を、魚が水を吸うように飲むばかりで、「茶話」と題したのは、言うところが皆、茶飲み話のように、清談であり、酒後の沈酔した何とか話ではないことを示しただけである。 民国十四年九月十六日。

※初出：1925年10月12日『語絲』第48期